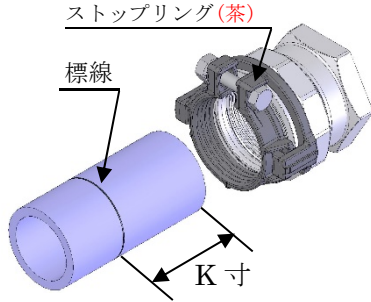


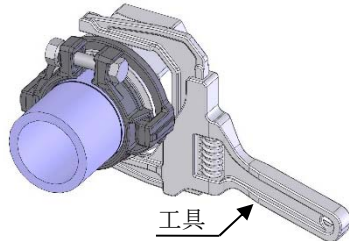
SKX 施工手順 (水道用銅管 1 形用)

①パイプに標線を入れ、**分解せず**にそのまま標線まで挿し込む。
(管切断のカエリは取り除く。滑剤塗布不要)



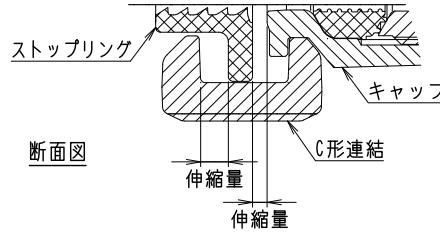
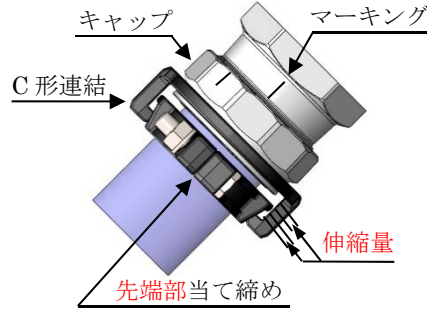
注 1)管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工する。

②本体とキャップを十分手締め(素手)した後、マジック等で**マーキング**する。ショートレンチ等の工具で、**キャップを標準締付回転数**で締め付ける。



注 2)・十分な手締め(素手)は 8N・m 程度です。
・SKX用ショートレンチで締めた場合は 35N・m 程度です。
・手袋使用の場合は、**スベリ止め付グローブ**を使用して下さい。

③C形連結を**中心方向に押えながら**、ストップリングを締めやすい位置にする。両端に伸縮量を保った状態で、**ストップリング先端部を当て**締めする。



注 3)管とストップリングが直角になるように締め付けること。

注 4)再施工時はボルト・ナットを交換すること。

④**接合完了**
キャップとストップリングの**締め忘れを確認**する。

《管の取り外し》

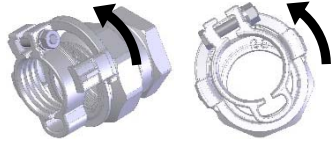
・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを**緩めるだけで管と分離可能(分解不要)**。

| 管呼び径 | SR呼び径(茶) | 本体呼び径 | K (mm) +10/-0 | キャップ | | ストップリング (参考締付トルク N・m) | 六角対辺 |
|------|----------|-------|------------------|----------------|----------------|--------------------------|------|
| | | | | 十分な手締め後 回転数 | 参考締付トルク N・m | | |
| 13 | Cu①13 | V13 | 50 | 1/4~1/2 | (15) | 当て締め | 10 |
| 20 | Cu①20 | Cu①20 | | | | | |
| 25 | Cu①25 | Su25 | | | | | |
| 30 | Cu①30 | 25 | | | | | |
| 40 | Cu①40 | 32 | | | | | |
| | | | 60 | | (20) | | 13 |

※太字：基準値

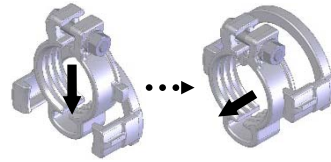
SKXストップリング (SR) 交換手順

- ①C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。

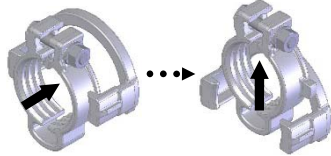


- ③適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



- ②SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜く。



- ④C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。

